



No 1 2025.12.25

連合塩釜地協ニュース

発行
連合宮城塩釜地域協議会
発行人 小田島 正洋

〒985-0002
塩釜市海岸通14-6
TEL(022) 367-1700
FAX(022) 367-7505

2026年 新年のご挨拶



連合宮城塩釜地域協議会

議長 池田 仁和

構成組織の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

また、日頃より連合宮城塩釜地域協議会の諸活動に対し、深いご理解とご協力を賜っておりますことに、あらためて厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、物価高騰の長期化、エネルギー価格の変動、人手不足の深刻化など、働く者を取り巻く環境は依然として厳しく、職場や地域において多くの課題が顕在化した一年でありました。そのような中にあっても、構成組織の皆様がそれぞれの職場・産業・地域において、労働条件の維持・向上、安心して働き続けられる環境づくりに粘り強く取り組まれてきたことに、深い敬意を表する次第です。

2026年は、賃金・労働条件の改善はもとより、持続可能な地域社会の実現、次代を担う人材の育成、そして誰一人取り残されることのない社会づくりに向けて、労働組合の役割がこれまで以上に問われる年になると考えます。人口減少や産業構造の変化が進む中、塩釜地域においても、地域に根差した運動と構成組織相互の連携が一層重要となります。

連合宮城塩釜地域協議会といたしましても、「働くことを軸とする安心社会」の実現を基本理念に掲げ、構成組織の皆様と力を合わせながら、政策・制度要求の取り組み、地域との連携強化、組合員一人ひとりに寄り添った活動を着実に進めてまいります。対話と協調を大切にし、現場の声を社会に届ける役割を果たしていく所存です。

結びに、構成組織の皆様のご健勝とご多幸、そして各組織のますますのご発展を心よりご祈念申し上げますとともに、本年も変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます、新年のご挨拶といたします。

令和八年 元旦

《2026年度 役員体制》



役 職 名	氏 名	出身単産名	出 身 単 組 名
議 長	池 田 仁 和	基 幹 労 連	J F E ス チ ール 仙 台 労 働 組 合
副 議 長	佐 藤 完	自 治 労	塩 釜 市 職 員 労 働 組 合
副 議 長	塩 谷 真 仁	電 力 総 連	東 北 電 力 労 働 組 合 新 仙 台 火 力 支 部
副 議 長	斎 藤 忠 志	J R 総 連	J R 東 労 組 新 幹 線 総 合 車 両 セ ン タ ー 支 部
事 務 局 長	小 田 島 正 洋	私 鉄 総 連	宮 城 交 通 労 働 組 合
事務局次長	大 町 竜 一	J P 労 組	J P 労 組 宮 塩 支 部 塩 釜 総 分 会
幹 事	結 城 靖 亨	J E C 連 合	カ メ イ 物 流 サ ー ビ ス 労 働 組 合
幹 事	渡 辺 和 之	J E C 連 合	片 倉 コ ー プ ア グ リ 労 働 組 合 塩 釜 支 部
幹 事	高 橋 宏 彰	私 鉄 総 連	宮 城 交 通 労 働 組 合 塩 釜 支 部
幹 事	高 橋 慧	政 労 連	雇 用 労 宮 城 支 部
幹 事	花 渕 友 茂	運 輸 労 連	全 日 通 労 働 組 合
幹 事	芳 賀 真 一 郎	交 通 労 連	三 協 輸 送 労 働 組 合
会 計 監 査	藤 田 志 保	全 労 金	東 北 労 金 労 働 組 合 新 塩 釜 分 会
会 計 監 査	大 内 累	地 域 ユ ニ オ ン	富 士 オ イ ル サ ー ビ ス 労 働 組 合
顧 問	青 沼 勝 則	前 議 長	